

令和2年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	所管部局	総合政策部	作成責任者	地域振興監 佐々木 徹	施策コード	02 - 08
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	地域政策課地域活力係 (内線23-483)	関係課	地域政策課	政策体系コード	3(1)A

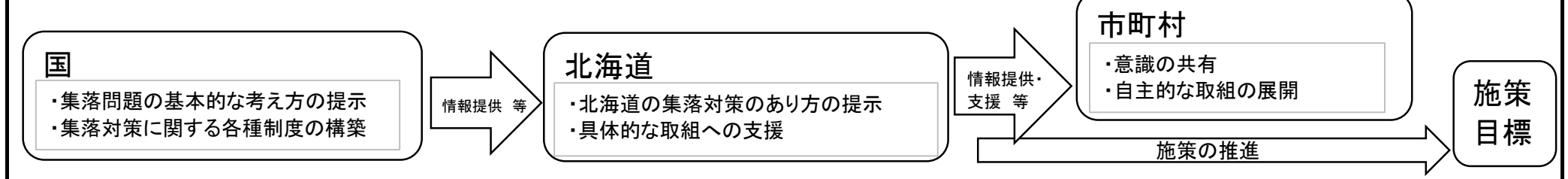
Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
・人口減少や高齢化の進行に伴い、生活機能の低下や交通手段の不足などの問題が生じている集落については、集落機能の維持・確保に向けて、地域の実情に即した集落対策を地域の主体性に基づき、実施する必要がある	・集落対策に未着手の市町村や集落に対して着手するよう促すとともに、取組の定着に向け、集落住民や市町村を継続的に支援していく	H30	3,107
		R1	3,107
		R2	2,762

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【集落対策】	3(1)A	集落対策に関する総合対応→地域の主体的な取組を支援 ◆集落問題の基本的な考え方の提示 ◆集落対策に関する各種制度の構築	集落対策の旗振り役→地域の主体的な取組を促進 ◆北海道の集落対策のあり方の提示 ◆具体的な取組への支援	集落対策の主役 ◆意識の共有～「気づき」や「学び」 ◆自主的な取組の展開	

施策のイメージ



令和2年度 基本評価調書

施策名

集落対策の推進

施策コード

02 — 08

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

今年度の取組

1-2 取組の結果

政策体系 及び 関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを 踏まえた対応
3(1)A	<p>【集落対策のあり方の提示】 ◎集落対策の主体となる市町村や集落住民における取組の促進を図るとともに、集落対策の普及・定着に向け、これまでの取組事例などを積極的に発信する。</p> <p>【創生】 A2111 ◎集落対策を全道的な拡がりのある取組とするため、住民、市町村、NPO、団体・企業、大学など集落を支える方々が、情報交換や親交を深めることを目的とする交流大会を開催する。 A2112 ◎市町村における取組の更なる促進を図るため、市町村職員等を対象とし、集 A2113 落対策の先進事例の現地視察会及び有識者を交えた意見交換会を開催する。 【強靱化】 B7231 また、本視察で得た各地域の先進事例をHP等により広く情報発信する。 【公約】 C0059 C0060</p>	<p>・集落対策の先進事例を現地視察する「元気なふるさとづくりミーティング」を、令和元年10月、11月にオホーツク、胆振、渡島の3地域で開催し、有識者と市町村職員等とを交え、現地の取組状況を踏まえた意見交換会を行い、更なる取組の促進に繋げた。</p> <p>・令和2年1月に札幌市で開催した「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」に全道各地で集落対策に携わる方々が65名参加し、2日間にわたって全国の取組事例の学習や情報交換を実施し、人材ネットワーク構築にも寄与した。</p> <p>・集落対策の専門家による「元気なふるさとづくり研究会(旧集落問題研究会)」を、令和元年8月に札幌市、令和2年7月にオンラインで開催し、今後の道の集落対策などについて議論した。</p> <p>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</p> <p>・集落対策の専門家による「元気なふるさとづくり研究会(旧集落問題研究会)」は対面方式で行われる予定であったが、感染対策としてオンラインで開催した。</p> <p>・今後の「元気なふるさとづくり研究会」及び「元気なふるさとづくりミーティング」については、出席者を最小限の人数にするなど、感染症防止対策を講じた上での実施を検討する。</p> <p>・今後の「元気なふるさとづくり交流大会」については、開催形態等について検討し、実施の可否も含め判断する。</p> <p>【国等要望・提案状況】</p> <p>・地域の活力を維持するため、集落の維持や住民生活の確保、集落対策に取り組む人材の育成・確保等について、支援策を強化するよう、国への要望を行った。(R2.7)</p>	<p>全道の集落の状況及び市町村や地域の集落対策の取組状況を把握するため、平成31年4月に北海道内全集落(3,632集落)を対象に「北海道集落実態調査」を実施しており、人口減少や高齢化が進む集落において、市町村が今後取り組みたいと考えている施策等を確認し、「元気なふるさとづくりミーティング」で課題に対応する先進事例を視察したほか、今後の集落対策の方向性の検討材料とした。</p>
3(1)A	<p>【具体的な取組への支援】 ◎集落問題の専門家による、困りごとを気軽に相談できる相談会を開催する。 ○地域活動の担い手となる人材の育成やサポートなど各種の取組を展開し、地域住民や市町村の主体的な取組を支援する。 ○地域において、色々な立場の方が互いに協力し合いながら、地域の課題を解決するための実践的なセミナーを開催する。 ○地域でまちづくりに取り組む各団体への情報提供や相談業務、意識醸成等の取組を行う。</p> <p>【創生】 A2111 A2112 A2113 【強靱化】 B7231 【公約】 C0063</p>	<p>・令和2年1月に札幌市で開催した「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」の2日目に「ふるさとづくり相談会」を開催し、課題を抱える集落と有識者の出会いの場を提供した。</p> <p>・令和2年1月に「地域カススキルアップセミナー」を開催し、ファシリテーション研修を行い、地域活動の担い手となる人材の育成を図った。(市町村職員や地域づくり団体関係者など35名が参加)</p> <p>また、「まちづくりコンシェルジュ」の取組により、市町村やまちづくりに取り組む団体からの相談対応及び情報提供を行うことで、地域活動の主体的な取組を支援した。</p> <p>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</p> <p>・今後の「元気なふるさとづくり研究会」及び「元気なふるさとづくりミーティング」については、出席者を最小限の人数にするなど、感染症防止対策を講じた上での実施を検討する。【再掲】</p> <p>・今後の「元気なふるさとづくり交流大会」については、開催形態等について検討し、実施の可否も含め判断する。【再掲】</p>	<p>地域の課題解決を支援するためのふるさとづくり相談会では、専門家による課題解決に向けたアドバイスを実施した。</p>

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
地域・民間	「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」を開催することにより、行政、有識者、地域で活動するNPOなど多様な主体の交流やネットワーク化を促し、課題を抱える集落と有識者等の出会いの場を提供する。		集落対策の有識者、NPO法人等	令和2年1月に札幌市で開催した「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」に、全道各地で集落対策に携わる方々が65名参加し、2日間にわたって全国の取組事例の学習や情報交換を実施し、人材ネットワーク構築にも寄与した。 また、「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」の2日目に開催した「ふるさとづくり相談会」に、集落対策に携わる方々が参加し、専門家から地域の課題解決に向けたアドバイスを受けるなど、課題を抱える集落と有識者の出会いの場を提供した。

令和2年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	H25	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	A	A	
集落対策を実施している市町村数(集落対策に取り組む市町村数)		基準年度	H25	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	A	A	【内的要因】 集落対策のモデル事例やノウハウを広く普及させ、対策に取り組む方々のネットワークを構築することにより、集落対策の必要性に対する意識醸成が進んだものと考えられ、事業効果が現れている。 【外的要因】 特になし
		基準値	85	目標値	155	最終目標値	176	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 道内において集落対策を実施している市町村数	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	151	155	176			
【アウトカム指標】 総合計画の政策の方向性「地域互いに支え合うまちづくりの推進」の観点から安心して暮らしていくために必要となる生活支援に関する取組の成果を測る指標として設定	北海道総合計画 北海道創生総合戦略	3(1)A	増加	$\frac{(\text{実績値}-\text{基準値})}{(\text{目標値}-\text{基準値})} \times 100$		実績値	151	-	151			
						達成率	100.0%	-	85.8%			

関①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	R1	年度	R2	最終年度	R6	達成度合	A	A	A	
食料品などの日々の買い物に「満足している」、「やや満足している」人の割合		基準年度	R1 <td>年度</td> <td>R2 <td>最終年度</td> <td>R6 <td>達成度合</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td rowspan="4">【内的要因】 地方では、人口減少に伴う食料品店など生活に必要不可欠な施設の閉店・撤退が問題となっており、住民の日常生活を維持していくため、集落対策先進事例集の作成や普及啓発を進めることで、市町村における取組を支援している。 【外的要因】 特になし</td> </td></td>	年度	R2 <td>最終年度</td> <td>R6 <td>達成度合</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td rowspan="4">【内的要因】 地方では、人口減少に伴う食料品店など生活に必要不可欠な施設の閉店・撤退が問題となっており、住民の日常生活を維持していくため、集落対策先進事例集の作成や普及啓発を進めることで、市町村における取組を支援している。 【外的要因】 特になし</td> </td>	最終年度	R6 <td>達成度合</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td rowspan="4">【内的要因】 地方では、人口減少に伴う食料品店など生活に必要不可欠な施設の閉店・撤退が問題となっており、住民の日常生活を維持していくため、集落対策先進事例集の作成や普及啓発を進めることで、市町村における取組を支援している。 【外的要因】 特になし</td>	達成度合	A	A	A	【内的要因】 地方では、人口減少に伴う食料品店など生活に必要不可欠な施設の閉店・撤退が問題となっており、住民の日常生活を維持していくため、集落対策先進事例集の作成や普及啓発を進めることで、市町村における取組を支援している。 【外的要因】 特になし
		基準値	78.7%	目標値	現状値以上	最終目標値	現状値以上	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 「あなたは、食料品など日々の買い物に満足を感じていますか」という問いに対し、「満足している」「やや満足している」と回答した道民の割合	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	68.5	78.7	78.7			
【アウトカム指標】 総合計画の政策の方向性「地域互いに支え合うまちづくりの推進」の観点から安心して暮らしていくために必要となる生活支援に関する取組の成果を測る指標として設定	北海道創生総合戦略	3(1)A	増加	$(\text{実績値} / \text{基準値}) \times 100$		実績値	78.7	-	78.7			
						達成率	114.9%	-	100.0%			

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について

	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(1)A	2					A・B指標のみ	<p><集落対策を実施している市町村数[A]> 集落対策のモデル事例やノウハウを広く普及させ、対策に取り組む方々のネットワークを構築することにより、集落対策の必要性に対する意識醸成が進んだものと考えられ、事業効果が現れている。</p> <p><食料品などの日々の買い物に「満足している」、「やや満足している」人の割合[A]> 地方では、人口減少に伴う食料品店など生活に必要な不可欠な施設の閉店・撤退が問題となっており、住民の日常生活を維持していくため、市町村の取組を支援していく必要がある。</p>
計	2	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、集落対策の専門家による「元気なふるさとづくり研究会(旧集落問題研究会)」は対面方式で行われる予定であったが、感染対策としてオンラインで開催した。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	地域の活力を維持するため、集落の維持や住民生活の確保、集落対策に取り組む人材の育成・確保等について、支援策を強化するよう、国への要望を行った。(R2.7)
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	「北海道集落実態調査」を実施し、人口減少や高齢化が進む集落において市町村が今後取り組みたいと考えている施策等を確認し、「元気なふるさとづくりミーティング」で課題に対応する先進事例を視察したほか、集落対策先進事例集の作成や普及啓発を進めた。 地域の課題解決を支援するためのふるさとづくり相談会では、専門家による課題解決に向けたアドバイスを実施した。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	令和2年1月に札幌市で開催した「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」に、全道各地で集落対策に携わる方々が65名参加し、2日間にわたって全国の取組事例の学習や情報交換を実施し、人材ネットワーク構築にも寄与した。 また、「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」の2日目に開催した「ふるさとづくり相談会」に、集落対策に携わる方々が参加し、地域資源の活用や生活支援、地域交通などの悩み事を専門家に相談し、課題解決に向けたアドバイスを受け、課題を抱える集落と有識者の出会いの場を提供した。
判定 ・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c			C

Check 施策評価・事務事業評価 二次政策評価結果(知事による評価)

6 二次政策評価結果(知事による評価)

<意見区分： 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
施策 事務事業	I	1411	特定地域政策推進費(集落総合対策事業費)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
事務事業				

令和2年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者からの意見聴取の場である「元気なふるさとづくり研究会」を感染症防止対策としてオンラインで開催。今後の意見交換においては、対面形式とオンライン形式を状況に応じて検討する。 ・次年度の「元気なふるさとづくり研究会」はオンラインを活用して、より多くの市町村や振興局、地域おこし協力隊など、集落対策に関わる関係者に参加を呼びかけ、効果的な取組を検討する。 	改善: 特定地域政策推進費(集落総合対策事業)

(2) 二次政策評価結果への対応(付加意見への対応状況)

<意見区分: 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

施策 事務事業	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)	
				改善	その他
	I	1411	特定地域政策推進費(集落総合対策事業費)	1	0

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)	0
-----------------	---

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価におけ る方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
1411	特定地域政策推進費(集落総合対策事業費)	改善	改善